

# 新型コロナウイルス感染急拡大（オミクロン株）

## スカウト活動における感染防止対策の強化について【注意喚起】

令和4年2月7日

奈良県連盟コミッショナー 宮脇 誠一

1月に入りオミクロン株による小・中・高校生を含む若年層での感染が増加し、学校において学年、学級閉鎖や休校が相次いでおり、家庭内感染も拡大しております。また、感染していなくても「濃厚接触者」として自宅待機のケースも増えております。各地区／各団・隊の指導者におかれましては、引き続き以下の通りの感染予防を遵守し、活動における適切な判断をお願い致します。

### ◆活動計画時の再確認◆

コロナ感染症対策について、団・隊が十分に対応できる環境が整った場合に限り、保護者の同意を得て団の判断のもと、活動の継続をお願い致します。

《県・市町村の感染状況や自治体（教育委員会他）の方針も参考に判断しましょう》

多数での集会や活動、対面会議については、できる限り自粛しリモート等を活用しましょう。

- ① 密になりやすい室内での活動は控え、コロナ感染症対策を十分に行った上で出来るだけ屋外にて集会やオンライン集会を実施しましょう。
- ② 宿泊を伴う活動については、若年層の感染拡大が続いておりますので、特に短期宿泊は当面の間、控えましょう。
- ③ 移動による活動の感染リスクを考えましょう。
  - ・公共交通機関での移動（混んでいる時間帯を避けて利用する）
  - ・車やバスでの長時間の移動（人との距離の確保、分散乗車、会話は控えめ）

\*特にリスクの高い活動については、しばらく自粛しましょう

【活動自粛の期間や強制は行いません。】

### ◆活動実施時に意識して取り組まないといけない事象◆

#### ① 3密の回避

- ・セレモニーやゲーム、飲食、グループ作業での密にならないように指導者が目配り出来るように配慮する。
- ・短時間のプログラムの展開、近距離での対面は控える指導。
- ・大人数の場合は分散してプログラムの展開も考える。

#### ② 密接なグループワークへの誘導

- ・全体の活動（隊）が望ましいが、感染リスクを考えれば少人数（組）（班）でのプログラム展開、または個別指導などの展開。
- ・またオンライン、おうちスカウティングなどの活用も有効である。

#### ③ 過度の疲労を伴う活動の強要

- ・ハードな活動により子供達の免疫力が低下する恐れがあります。スカウトの健康を第一に考えて活動をして下さい。

コロナ感染対策をしっかり行い、スカウティングの本質を忘れずに活動をしていきましょう！